

令和4年 萩市議会 6月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	6	松 浦 誠	6月20日午前
2	13	西 中 忍	
3	9	佐々木 公 恵	午後
4	8	森 田 宗 和	
5	4	小 林 富	
6	3	岡 崎 隆 志	6月21日午前
7	14	斉 藤 眞 治	
8	2	浅 井 朗 太	午後
9	12	関 伸 久	
10	17	宮 内 欣 二	
11	10	美 原 喜 大	6月22日午前
12	1	水 津 和 男	
13	11	森 田 哲 弘	午後
14	5	瀧 口 治 昭	
15	7	村 谷 幸 治	

質問順位	1	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 学校施設のゼロエネルギー化と環境教育の推進について	1. 学校施設のゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）化の取り組みについて 2. 環境教育の推進の取り組みについて		
2. 法改正によるペットの管理と看護について	1. 犬や猫のマイクロチップ装着の義務化について 2. 愛玩動物（ペット）看護師法について		

質問順位	2	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 中核病院の形成には市民の理解と協力が重要ではないか	<p>1. 中核病院の形成は、萩市の将来にとって大変に重要な課題で、早期に整備するためには、国・県・市などが緊密に連携することが重要だと考えています。</p> <p>さらに、議会がしっかりと連携することも必要ですが、何より重要なことは市民が正しく理解したうえで、市民全体で協力する体制を作っていくことではないかと思います。</p> <p>しかし、市民の中に中核病院の整備に必要な経費等で間違った情報が流されていることから、中核病院形成の必要性や整備に関する正しい理解が十分できていないのではないかと考えています。</p> <p>そこで、行政のトップである市長の言葉で、市民に向けて正しい情報を提供していただきたいと思いますが如何ですか。</p>		
2. 市民ボランティアに頼った市道周辺等の維持・管理を見直す時期ではないか	<p>1. 萩市は、約1,000kmにも及ぶ市道を有していますが、年間を通じてこの市道周辺の草刈り作業等を行っている市民の方も多くおられ、この方々のおかげで維持管理が出来ている部分もあると思います。</p> <p>しかし高齢化・人口減少が進んでいることから、近い将来このような市民ボランティアで管理することが難しくなると考えられることから、なんとか市民ボランティアで対応できている今、将来の管理体制について早急に見直す必要あると思います。</p> <p>そこで、市長は市民ボランティアによる、市道周辺等の維持管理の現状についてどのような認識を持ち、今後どのように管理しなければいけないと考えているかお尋ねします。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>3. 高齢化等に伴い移動手段の確保と充実が必要ではないか</p>	<p>1. 萩市は高齢化が進んでいますが、各総合事務所管内などでは、ぐるっとバスや地域のコミュニティ団体が運営するバスなどを配置して、移動手段を確保しています。</p> <p>しかし、移動手段に関する課題を抱えている地域は、各総合事務所管内などだけではなく、萩地域でも、例えば中の倉・長山、目代・中津江など、中心部から距離のある地域でも同様ではないかと思えます。</p> <p>また、この様な地域は高齢化も進み、今後、免許証を返納する方が増加すると考えられることから、今から将来の移動手段の確保対策を考えておく必要があると思えます。</p> <p>あわせて、自家用車がなくても移動に不便がない環境を作ることで、免許証の返納が進み、不幸な交通事故の抑制にもつながっていくと考えますが、市長は移動手段に関する課題と対策についてどのように考えているかお尋ねします。</p>

質問順位	3	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 安心・安全な水の供給確保について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 老朽化した配水管の更新計画について 2. A I 技術を活用した配水管の漏水調査について 3. 水道未普及地域への対応について 4. 井戸水による飲料水および生活水確保について 		
2. 安心・安全な教育環境について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 小中学校の通学路について 2. トイレ洋式化について 3. 小学校内の遊具について 		

質問順位	4	質問者	森田宗和議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. ロシアのウクライナ侵攻における萩市の対応について	<p>1. ロシアのウクライナ侵攻が、長期化しております。萩市は、どのような対応をされていますか。</p> <p>(1) ウクライナからの難民について、国、県から移住要請があった場合、どのような対応をされるのかお聞きします。</p> <p>(2) ウクライナ人道危機救援金募金をされていますが、集計結果と、いつ、どのように、どんな形で届けられているのかお聞きします。</p>		
2. コロナ禍における小中学校のマスク着用について	<p>1. 小中学生の熱中症が心配です。夏に向かい気温の上昇が進んでいきます。その中で子供たちは、登校時、外での遊びの時間、マスクをしている子供たちを多く見かけます。現在、萩市では、比較的コロナの発症も収まっており、登校時、運動場での遊び、体育授業は、マスクを外してもいいのではと思いますが、教育委員会の指針と見解をお聞きします。</p> <p>2. 現代、マスクが新しい生活様式になっていますが、相手の表情が見えない、読みにくいと感じている方も多いと思います。現在、子供の脳に弊害があるのではと言われています。顔や表情を学ぶ赤ちゃんの脳の発達に、マスクで顔が見えないことでの、懸念も叫ばれています。</p> <p>また、相手の気持ちを考える能力が、一番成長する4歳から10歳がマスクによってコミュニケーションの壁になっていると2020年11月12日のNHKの番組でありました。</p> <p>京都大学大学院教育学研究科の明和政子教授によりますと「目だけで情報が通じ合うのは大人の世界です。子供たちは、表情の中の沢山の情報を使って、少しずつ少しずつ、相手の表情、感情というものを理解していくわけです。そういった経験が今回のコロナ禍において一気に失われていく可能性が高いです。」と言われています。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>私の孫は、今年、小学校三年生になりました。孫は、給食時間以外は、先生の口元の顔を3年間見ていません。しかも、給食時間は黙食です。先生の怒った顔、笑った顔、悲しい顔、喜んだ顔、見ていません。子供たちの感情形成に大切な時に、空白が生まれているのではと心配しています。</p> <p>コロナ感染も、少なくなっております。そこで提案なのですが、先生の教壇に透明の亚克力板を立て、先生のマスクを外すことをしては、いかがでしょうか。教育委員会の見解をお聞きします。</p>
<p>3. まぁーるバスの運賃改定について</p>	<p>1. 萩市まぁーるバスは、平成12年4月に運行されました。それ以降100円で運行されていますが、ロシアのウクライナ侵攻後、ガソリン価格の高騰が続いています。今後もっと値上がりしが、心配されております。ガソリン価格値上がり前と後の運行経費の差額はいくらかお聞きします。</p> <p>(1) 運行以来、一度も運賃の改定をしていません。このままでは、税負担が続きます。運賃の見直し、収入増を図るべきと考えますが、お尋ねします。</p> <p>(2) 現在、パスカード等、観光客向けの割引があります。1日乗車券500円、2日乗車券700円ですが、大幅に値上げしても良いのではと思いますが、お尋ねします。</p> <p>(3) 4月24日の選挙活動中、長野、霧口、沖原、大屋、笠屋、河内の市民の皆さんと接した際、「町はいいね。100円で病院、買い物に行けて、私ら免許を返したら買い物にも行けない」と数人の方に、言われました。100円が、適正価格なのか。地域格差が起こってはいないか。今一度検証が必要なのではと思いますが、お尋ねします。</p> <p>2. 今後、給食無料化、多子世帯応援誕生祝金等子育てに優しい事業が多々あります。そこで、まぁーるバス等の経費の見直し、改革が必要ではないかと思いますが市長の見解をお聞きします。</p>

質問順位	5	質問者	小林 富 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩版DMOによる観光戦略について	<p>1. 先日、観光地としての魅力で日本が世界一になりました。評価された項目には交通インフラや世界文化遺産・無形文化財、治安の良さなどが挙がっており、今後ますます訪日外国人だけでなく、感染防止対策の上での国内での観光需要が増加する期待が持てます。</p> <p>将来を見据えて、コロナ禍での需要回復に向けた補助事業だけでなく、近年の旅行形態の変化（団体から個人）、旅行目的や関心の多様化、ICT化とその活用などに対応するための施策が必要と考えます。</p> <p>観光の舵取り役は萩版DMOが担っていますが、デジタルにおけるマーケティングやプロモーションなどどのように取り組むか、高度な専門人材の必要性についてお聞きします。</p>		
2. 伝建地区での文化財活用による街づくりについて	<p>1. 現在、萩市伝統的建造物群保存地区での現状変更を行う場合には、市長および教育委員会の許可を受けることとなっており、その諮問として、萩市伝統的建造物群保存地区保存審議会（以下、「審議会」）が設置されています。</p> <p>今後の活用に向けて伝建地区は保存に加えて、景観や街並みといった萩市のブランドをどう活用するかの議論が必要であり、事業者や地域住民の賑わいを創出するための街づくりが進むべきだと考えており、お尋ねします。</p> <p>（1）現在の開催頻度は1年間で3回ですが、審議会の開催頻度を増やし、迅速に議論が進むように再考、または、協議事項に応じて開催するなど柔軟な検討が必要ではありませんか。</p> <p>（2）現在、審議会で現状変更を行う際に学識経験者および関係地域代表により審議いただいておりますが、新たな取り組みや活用をする際のルールや議論する仕組みづくりが必要ではありませんか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
3. 今後予定されている休日部活動の地域移行について	<p>1. 来年から休日部活動の地域移行が始まり、達成の目標時期が2025年度末（令和7年度末）となっています。休日の部活動が地域移行する背景は、人口減少する社会で持続可能となるためであり、特に郡部での少子化は深刻です。また、教師の負担軽減など働き方改革でもあります。</p> <p>将来は、部活動が学校単位から地域単位へと地域移行しますが、スポーツの拠点整備や多様な体験機会の創出、地域と連携したスポーツ環境などは既存の仕組みから変化する中で新たな可能性にもなると考えており、お尋ねします。</p> <p>(1) 現在の検討状況と地域移行に向けてどのようなスケジュールで検討がされていますか。</p> <p>(2) 課題となる指導者確保、活動場所の確保、団体などの受け皿づくり、保護者理解にどう対応しますか。</p>

質問順位	6	質問者	岡崎隆志 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 人口減少対策の次の一手はどうするのか	<p>1. 今年度の当初予算では「人口減少の最大の要因は少子化である」とのお考えに基づき、子育て支援策の拡充をされております。しかし、このようなお金をバラまくような施策だけでは費用対効果は限定的であると思料します。子育て支援策と同時に、移住先が萩市でなければならぬ理由が必要です。どこにエッジを立ててまちづくりを進めるのか、これが重要となります。</p> <p>次の一手をどう考えるのか、お聞きします。ただし、具体的な施策までは求めません。</p>		
2. みどりの食料システム戦略新法への対応は	<p>1. 農業の環境負荷低減を目指す「みどりの食料システム戦略」（いわゆる“みどり戦略”）を推進する新法が国会で可決・成立しました。2050年までに目指す姿として、農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現、化学農薬を50%低減、化学肥料の使用量を30%低減、有機農業の取組面積の割合を25%に拡大、などが挙げられています。これを実現するには、従来の殺虫剤に代わる新規農薬の開発等の技術の進歩などが前提としてありますが、現時点ではかなり難易度が高いものです。某紙によりますと、政府が2030年までに化学農薬の使用量を10%削減、化学肥料の使用量を20%削減する、中間的な新目標を設ける方針であるとも報じています。</p> <p>今後の営農に大きな影響を与える可能性のあるこの新法に対し、萩市としてはどのように対応していくのか、現時点での考えをお聞きします。</p>		
3. 農業の第三者継承への支援をどう考えるか	<p>1. 全国農業会議所が取りまとめた「新規就農者の就農実態に関する調査結果」によると、就農で最も苦勞した点は、「農地の確保」の割合が最も高く72.8%、次いで「資金の確保」が68.6%となっております。就農地の選択</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>理由で最も多く回答があったのは、「取得・賃借できる農地があった」が50.8%で、農地取得の可否が就農地の選択に大きく影響していることがうかがえる調査結果となっております。</p> <p>先日某紙に「後継者がいない農家の経営資源（農地・機械・施設・生産技術・販路等）を新規参入者が引き継ぐ“第三者継承”を支援する動きが広がり始めた」という記事の掲載がありました。今後、萩市においては、農家の高齢化による離農が加速度的に進むことは避けられない状況であり、第三者継承は、まさに私が1年前の一般質問で提言した内容そのものです。</p> <p>しかし継承の合意までには課題も多く、行政やJAが支援組織を立ち上げ、希望者をデータベース化したり、継承資産の“見える化”を進めたりしている、とあります。</p> <p>あらためて、萩市の現状についてお聞きします。</p>

質問順位	7	質問者	斉藤眞治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 山陰道 大井・萩道路の二重橋整備構想について (令和3年8月、県知事に提出された市長要望書の推移を問う)</p>	<p>1. 提出された二重橋整備要望書の取扱いは、どのようになっていますか。 提出後の県の対応は、どのようになっていますか。</p> <p>2. 二重橋整備構想の今後の対応は、どのように考えていますか。</p>		
<p>2. 一般会計当初予算事業執行計画と財源確保について (給食費無償化と予定外事業への予算措置を問う)</p>	<p>1. 給食費の無償化についてお尋ねします。 幼・保、小学生の給食費の無償化への予算措置は、どのように考えていますか。 給食費無償化の財源確保のため地方6団体との連携を摸索する必要はありませんか。また、基金会計の創設は考えませんか。</p> <p>2. 当初予算の事業執行と予定外の事業への予算配分を、どのように考えていますか。 市民との意見交換で出された事業要望に対する対応は、どのように考えていますか。</p>		

質問順位	8	質問者	浅井朗太 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 診療所の医師・看護師等人材の確保について	<p>1. 市内各診療所の医師・看護師等の人材配置状況の現況をお尋ねします。</p> <p>2. 診療所の医師・看護師等人材を確保するために、どのような取り組みをされているかをお尋ねします。また、取り組みに係る事業の予算をお尋ねします。</p>		
2. 伝統的建造物群保存地区（以下、伝建地区）における保存と活用の両立について	<p>1. 伝建地区指定において保存と活用のどちらが優位にありますか。</p> <p>2. 伝建地区指定と用途地域は、どちらが優位にありますか。</p> <p>3. 伝建地区のひとつである浜崎伝建地区内には、住居と事業者が混在しています。地区における許可基準（『現状変更の許可の要件となる基準』）は、住居用と事業用と一律の基準です。用途地域との関係を含めて、現在の基準は適正ですか。また、詳細な規制に関する明文化された基準は、『現状変更の許可の要件となる基準』以外にありますか。</p> <p>4. 浜崎伝建地区および近接する伝建地区外の地区の世帯数・人口および空き家数の推移についての比較を、伝建地区指定以降の期間についてお尋ねします。</p>		
3. 市内中学校の部活動改革の進捗について	<p>1. 市内中学校において、国が進める部活動改革にそった取り組みについての具体的な進捗状況をお尋ねします。</p> <p>2. 上記の進捗の中で、学校部活動から地域部活動への移行にむけた課題がどのようなものがあるかお尋ねします。</p>		

質問順位	9	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 高所作業注意報の発出で市民に注意喚起を	<p>1. これから草木の繁茂する時期に入り、庭木の剪定などで自宅あるいは職場等で高所作業をされる市民が出てくるのが予想される。一方、高齢になり、肉体的な衰え等の理由から、高所作業中にバランスを崩し、不幸にも命を落とす方や大けがをされる方の話を聞くことも多くなっている。</p> <p>萩・阿武管内において、ここ数年、高所から転落し、救急搬送されるケースがどれだけあるのか、分かる範囲で教えて欲しい。</p> <p>救急搬送されないまでも、高所からの転落等で通院を余儀なくされている潜在的なケースもある。</p> <p>については、広報などでしっかり注意喚起を行い、再発防止に努めて欲しい。</p>		
2. 川島地区および土原地区の環境整備を	<p>1. 川島地区における松本川の川岸に草木や葦が繁茂し、景観を損なっている。これらの草木や葦は、季節にかかわらず常時繁茂していることから、桜の見頃時期にもかかわらず、対岸からその様子を十分に楽しめないとの声も聞こえる。</p> <p>加えて、これからの梅雨時期に降水量が増え、水かさが増えてくれば、この草木や葦が下流域に流れ出ることも懸念される。</p> <p>については、これらの草木や葦の剪定を県に要望して欲しい。場合によっては、大規模な浚渫も必要になってくるが、予算や時間がかかる様であれば、剪定を優先に要望されたい。</p> <p>また、川島地区から土原地区にかけての土手沿いの市道は、街路樹の枝葉が道路に垂れ下がり、車の往来の支障になるとの声も届いている。道路状態もよくないことから、枝葉の剪定に加え、路面の再舗装もご検討頂きたい。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>3. JR運休時の振替輸送で、通学の足の確保を</p>	<p>1. JR山陰本線は、年々、乗降者数が減少しているものの、依然として、通勤・通学に利用される主要な鉄道路線の一つである。しかしながら、降雨や強風の影響で突然運休になるケースがあり、通勤・通学の足が奪われる事態が生じている。</p> <p>危機管理上、運行基準を遵守することは必要であるが、問題は、その受け皿がないことである。</p> <p>特に、市内高校に遠方から通学する生徒は、両親が共働きであれば、自力で通学することがほぼ困難となる。</p> <p>この振替輸送の対応について、市はJRと協議をしているか、お伺いする。未対応の場合は、その受け皿について、是非、協議を進めて欲しい。</p> <p>現在、萩市は高校進学時の市外流出を防ぐべく、市内高校への進学を推奨し、その際は交通費の補助を行っている。補助は出しても、肝心な通学の足を奪われたら、本末顛倒である。JRの責任でバスを手配するのか、あるいは、市の責任で臨時的にバスを輸送させるのか。いずれにせよ、交通弱者でもある子どもたちの通学の足を有事の場合でも確保して欲しい。</p>

質問順位	10	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 中核病院形成に関わる国の方針変更をどう見るか	<p>1. 「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」が示され、一部方針変更が行われていますが、萩市の中核病院形成の見直しは必要ないでしょうか。</p> <p>2. 同時に、公立病院財政強化推進措置も示されています。どんな影響があると考えていますか。</p>		
2. 在宅福祉サービスの充実について	<p>1. 生活支援毎日給食サービスの縮小について、3月に利用者にはどのような対応をしていますか。</p> <p>2. 家族介護について、介護をしている人への支援として介護慰労金制度よりも受けやすい萩市独自の制度を考えませんか。</p>		
3. アブサンショウウオの保護保全と風力発電計画について	<p>1. 萩市有林に希少生物アブサンショウウオが生息していることが確認されました。この環境を保全し、アブサンショウウオの保護について萩市はどのような考えをもっていますか。</p> <p>2. 阿武風力発電所の事業予定地もしくは、その隣接地であることから、事業が実施されると多大な影響が生じる懸念がありますが、どう対処されますか。</p>		

質問順位	11	質問者	美原喜大議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市民サービスについて	1. 予算書等のネット掲載は出来ないか。		
2. 選挙用葉書について	1. 期日前投票が多くなっている。早く出したいが、一斉に月曜日の提出になり、郵便局は混雑し、待ち時間が長くなる。そして、早くて、葉書が到着するのは火曜日である。月曜日につくようにならないか。システム等の変更は出来ないか。		
3. 中核病院の経緯について	<p>1. 藤道市政の折に、県や県議会または国に実施することの要望または申請をしていたのか。県内で、大島地域と萩地域の2地域が該当していると聞く。</p> <p>2. 議会への説明は、してあったのか。</p> <p>3. 市長選後、田中市政となり、0からのスタートを市民は支持したが、県議会議長や知事にお断りをして、進めることとなったようである。もう以前から実施することが決定していたのか。どうなっていたのか。</p> <p>4. また、どうして県議会が市の執行に関与してくるのか。特別委員会の設置に関しても、県議の関与があったとの発言があったが、過去にはそのようなことはなかった。何故、病院に関しては関与があるのか。</p> <p>5. 県議会と市は、どういう状況となっているのか。県議会が市の執行に関与することは、あり得ることなのか。(一般的にはあり得ないと思える。)既に選挙前に路線は決まっていたということか。</p> <p>6. 上記経緯は、市議会に、いつ・どう説明をしているのか。</p>		

質問順位	12	質問者	水津和男議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. サイクル漁業の導入とその強化対策について	<p>1. 萩市の漁獲高は山口県内でトップです。しかし実態は、ブリやマグロがたまたま大量に獲れたものであり先行き大変厳しい状況にあるものと考えます。そして、安定した収入と担い手の不足を補う意味からも獲る漁業から育てる漁業へ、そして海だけでなく陸でも育てる漁業の取組をしていく必要があるものと考えます。そこで放流とブランド魚の実績確認です。</p> <p>(1) 令和3年度に放流された稚魚稚貝の数量・コスト(内、市や県の補助がどれ位か)・生存率の数値を把握されていたら教えてください。</p> <p>(2) ブランドとして認識されている、キジハタ・剣先イカ・瀬付きアジ・アマダイ・しろうお・バイ貝・ウニなどについて直近5年間の漁獲高推移について教えてください。</p> <p>(3) この実態から、市としてはどのように考えこれからどのように取組みをされるのか伺います。</p> <p>2. 即効性、飛躍的な改善は難しいと考えますが複合的に取り組むことで道が開けるものと考えます。そこで、提案です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定置網を利用したサイクル漁業推進を図る ・定置網に入った抱卵魚を栽培し放流することを繰り返す ・廃棄している小魚やマグロを栽培時の餌とする <p>品質の維持向上はブランドを高めるためにも重要です。このためには、研究開発をする人材と設備が必要です。下関水産大学などとの連携が必要と考えますが、現状を教えてください。</p> <p>3. 磯焼けの実態があり、環境がすこぶる悪化しています。漁礁の設置やウニの駆除はしていると聞いていますが、改善の兆しがなかなか見えません。</p> <p>ガゼウニ、ヒトデ、プラごみの堆積などが大きな悪さをしていると考えます。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>駆除方法の改善と併せて海の環境を守っていく観点から定期的に写真撮影や水温・水質検査など定点観測を継続する必要があると考えますが、どの様に考えられていますか。</p> <p>4. 漁業の改善を考えると、下松市の漁業栽培センターの運営取り組み事例があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立に当たっては、漁村緊急整備事業（3億円）を利用、運営については、栽培漁業事業化促進事業、農山漁村ふるさと活性化推進事業、広域栽培パイロット事業などを利用しています。 ・当初は魚介類を中間育成し放流することが目的のようでしたが、近年、自然環境の変化や乱獲などにより水産資源が減少し、漁業生産が不安定になっていることから、育て、放流する活動を積極的に行うことで水産資源の回復に取り組んでいます。 ・養殖技術の調査・研究を行い、水産資源を安定して供給できる環境づくりをしています。 ・学校施設等への出前講座やセンター見学受け入れなどによる教育面だけでなく、笠戸ヒラメを全国にしらしめ、観光面においても多大な貢献をしています。 <p>これらのことを参考に定置網を利用した栽培漁業の拡大強化し、サイクル漁業(循環型)の取組をしようではありませんか。</p> <p>財源は、地方創生・漁業関係の国や県の補助事業予算を活用することが前提です。</p>
<p>2. 農産品の栄養価をPRすることで更なるブランドを高める</p>	<p>1. 萩市には、おいしいものが沢山あります。</p> <p>しかしながら、おいしいだけでは中々需要に結びつきません。</p> <p>栄養価を調査し比較PRすることでブランドを高めさらに、価格を高め利益に繋げることが生産者の意欲、後継者づくりに貢献できます。</p> <p>漁業同様に調査・研究・開発の人材が必要と考えますが</p>

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>現状の取組状況について教えてください。</p> <p>2. 価格の維持向上には、販売ルートが関係すると思われませんが 国内だけでなく輸出にも目を向ける必要があると考えます。</p> <p>輸出の取組はどのようになっていますか。</p>
<p>3. 鳥獣被害対策の強化について</p>	<p>1. 市議会議員視察の一環で中山間地域の実情を伺ったが、鳥獣被害はその中でも大きな問題点の一つであると感じた。そこで確認です。</p> <p>(1) 令和3年度の被害金額、捕獲数、猟友会メンバーの会員数と平均年齢について</p> <p>(2) 罾の設置数</p> <p>現在の状況を踏まえ、今後どのような強化策を考えられているかお聞かせください。</p> <p>駆除一辺倒でなく、動物愛護も踏まえ囲い込みにシフトすべきではないでしょうか。</p>
<p>4. 新型コロナウイルス感染症の対策見直しについて</p>	<p>1. 現在の対策は、感染者および濃厚接触者の潰しです。モグラたたきです。これからもウィルスの変異等考えると予防薬が無い中、今のやり方では半永久的に続くことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の問題点 ① 倒産、廃業、イベントがないなどによる経済損失は計り知れない ② 外出控えによるフレイル状態、うつなどの精神被害を伴う ③ 未症状の感染者は次の感染を引き起こす可能性がある <p>同じ対策が続く限り、上記の①②はさらに悪化することが想定され、新型コロナウイルス感染者以上の被害が考えられる。</p> <p>そこで新たに別な角度からの対策案です。</p>

質問項目	質問事項及び要旨
	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者がどこで感染したか行動ルートを地図に落とし込み、面を見て、多い行政地域単位にPCR検査を実施する。 ・検査が完了し陰性が確認できれば陰性カードを発行し行動制限なしとする。 <p>萩市モデルとして、県に提案をお願いしたい。</p>

質問順位	13	質問者	森田哲弘 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市東部地区の交通体制について	<p>1. 須佐・田万川地域の交通体制が見直しされて3年目に入っていますが、この事業のPDCAをどのように判断されていますか</p> <p>2. 萩市特に高齢化が進んでいる旧郡部では、免許証の返納が年々増えて来ています。地域に見合った交通体制の事業見直しの検討を、お考えいただきたいと思いますが如何でしょうか。</p>		
2. 人口減少問題について	<p>1. 萩市に若い世代が住める仕事の確保及び、収入の確保はまず行政の事業見直しと公共事業の確保で、出来ることから本気で取り組むことが、必要だと思いましたが如何でしょうか。</p>		

質問順位	14	質問者	瀧口治昭議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 観光地、萩市の玄関となる各道路と鉄道の駅の整備と管理について	<p>1. 青葉が茂る季節となりましたが、市内の道路周辺に茂る草木の成長は目覚ましいものがあります。国道、県道は国、県の管理といいながら、年に一度ぐらいの草刈り作業の予算では現状に追いついていないのが今の姿ではないでしょうか。管理管轄の責任の押し付け合いではなく、観光地萩市としての対応を独自に考えていかななくてはならないのではないのでしょうか。萩を訪れる観光客の方々の目には、生い茂る雑草はどのように映るのでしょうか。</p> <p>また、マナーの問題でもありますが、路上に不法に投棄された、ごみの対策についても考えていかなければならないと思います。</p> <p>鉄道の駅については、管理状態は問題としませんが、整備については、コインロッカーや待ち合い席の設置数はどうなのか、利用者からの不便の声はないのか、お聞きします。</p>		
2. 鳥獣被害への対策について	<p>1. 何度か鳥獣被害に対する市の対応についてお聞きしてきていますが、市内、特に周辺地域を回ると相変わらず鳥獣による農作物への被害の話をよくお聞きします。</p> <p>半ば常態化しているのか、あきらめの気持ちに近いご意見もお聞きします。市としては、これまでも、現在も、被害へのアンケート調査や、職員の狩猟免許の取得、モンキーダッグの育成、大型捕獲檻の設置事業、防止柵の設置などなど、いろいろな対策を講じられてきていますが、どの程度の効果があったのか、今後の方針はどのように考えられているのかお聞きします。</p> <p>また、農作物に限らず、地域によっては花の芽を食べられるという被害など、新たな被害の事例もあるようですが、住民からの被害の報告はどのようなものがあるのか、その対応はどうなっているのか現状をお聞きしたいと思います。</p>		

質問順位	15	質問者	村谷幸治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 小中学校の教員不足について萩市の現状はどうか	1. 教員の不足について萩市での実態はどうか。 2. 教員の時間外勤務の実態は把握できているか。 3. 生徒への教育に影響はないか。 4. 公立中学校運動部活動の地域移行への準備は進んでいるか。		
2. 高齢者移動支援助成事業について	1. 令和2年度より実施されている本事業における事業効果と、利用状況をお知らせ下さい。 2. 宇部方面への移動支援を検討されてはどうか。		
3. 中央公園テニスコートの整備計画について	1. 供用開始から10年が経過しました。今後の補修計画をお聞かせ願います。		